



お客様からのご依頼で買取りにお客様宅にお伺いしました。

「ずっと空き家にしていたので買取り出来るものを買取りして欲しい」とのご依頼でした。

当日ご自宅と思われる場所に伺うと、依頼主はおらず、敷地には雑草が覆い茂っていました。「空き家なので仕方ないか」と思いましたが、家の様子と電話でお話させていただいた依頼者の年齢が一致せず、少しの疑問はありました。

約束の時間になり、依頼主の方とお会いすることができ、一緒に家の中に入ると、室内は雑然としており、荷物は散乱し、袋に入った薬や手紙等が山のようにはありました。当時使っていたであろう調味料等もそのまま残っており、生活の形跡はあるのに人は住んでいない、どこか違和感を覚える光景でした。



お話を伺うと、「実は祖母の家なんです。もう6年もこのままにしてあって」と少しずつですがお話をして下さいました。

どうやら10年位前に入院され、そのままお亡くなりになられてから一度は片付けようとしたそうです。

しかし、なかなか足を運ぶことが出来ず、また片付けることが出来ずにそのままにしてあったそうです。

「捨てるに捨てれない。」

「処分するのは忍びない。」

「入院する前にある程度でも整理してくれていたなら」

と、お話しして下さいました。

そこで、生前整理について少しだけお話をさせていただきました。

- ・生前整理がとても重要だと思っていること。
- ・生前整理を普及し知ってもらいたいということ。

お話を進めさせていただくと、本当に顔つきが変わり

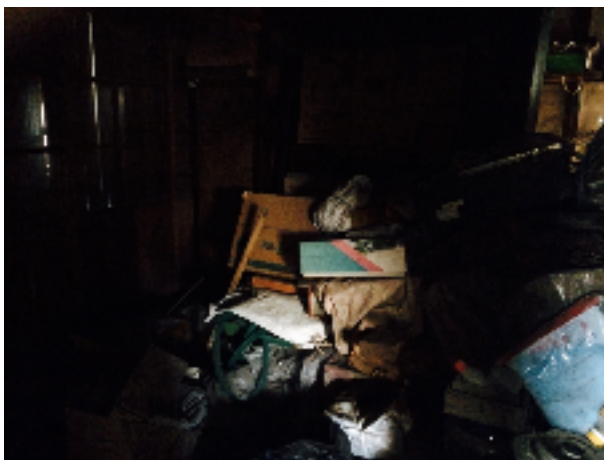
「そういうの（生前整理）がもっと広まってくればいいのに・・・」

「遺族にならないと分からない事なんです」

「絶対に必要な事だと思います」

と少し悲しそうな顔をされ仰っていました。

前回（6年前）片付けた時は段ボール3箱分の写真が出てきたそうです。



今回ここに掲載している写真はすべて許可を得て撮影させていただきました。

もっと生前整理というものが広まることを、そして役に立つなら何枚でも撮ってください。と仰っていただきました。

私は「遺品整理」を生業としているわけではありません。今回も「遺品整理」ではなく「空き家」にしていたので買取り

出来るものだけリサイクルして欲しいとのご依頼でしたのでリサイクル業者としてお伺いしました。

今回の依頼者様は5~6件のリサイクルショップに電話をしたところ、当店以外はすべて断られたそうです。そこで「遺品」ではなく「空き家」という事でご依頼をされたように感じました。今回はリサイクル業者として訪問しましたので、片付け等はいりませんでした。遺品整理の必要性も感じましたが、生前整理さえ出来ていれば今回の依頼者のような思いをすることも無かったと思います。

#### ◆なぜ依頼者はリサイクル出来るものは売却したかったか？

- ・現在建っている家および土地を売却したいが売却に伴い、室内の片付けが必要となる。
- ・片付けとは言え、業者に全てをゴミのように持っていかれることへの憤り。
- ・収集業者への支払いが高額であるため売却益を支払いに少しでも当てたい。

#### ◆主に遺品として残っていたもの

1. 衣類（箆笥7~8棹分）
2. 写真（段ボール3箱分）

3. 手紙や DM

3. タオルや贈答品

4. 大量の薬